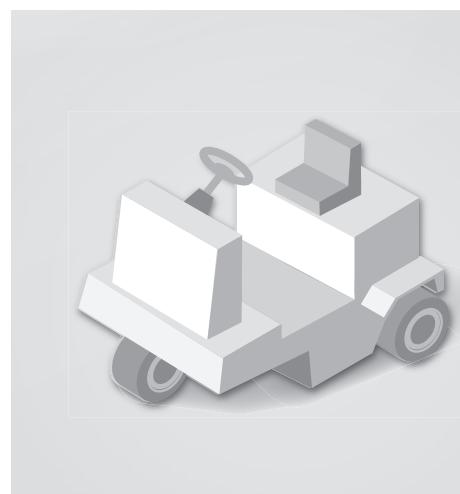
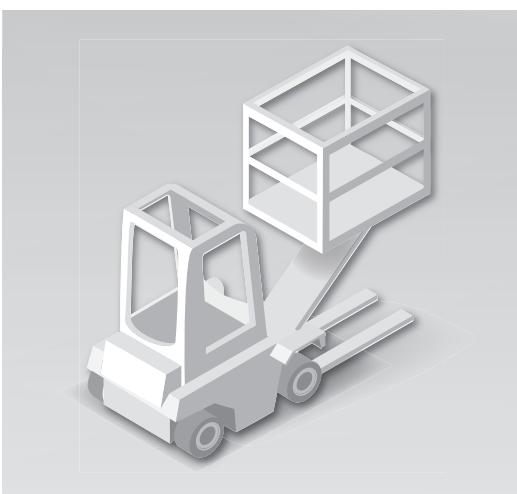
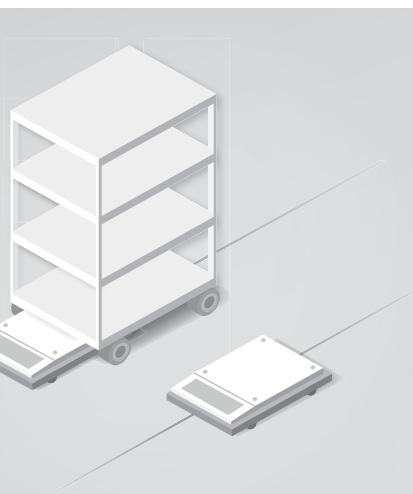
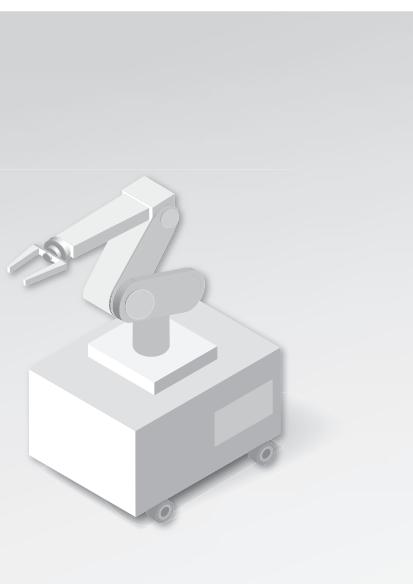


TOSHIBA

産業用リチウムイオン電池

SCiB™ SIPシリーズ



鉛蓄電池のいろいろなお困りごと、SCiB™ の「SIPシリーズ」で解決しませんか？



Before

- 1

充電に8~10時間も
かかるてしまう…

稼働中も充電の必要
稼働用と充電用の
2セット必要…



After

1時間の急速充電で 稼働率UP！

20分充電*も可能!
お昼休中に充電すれば1セットでOK



2

たった1~3年で
買い換えが必要…

頻繁な買い換えにより
メンテナンス費が
かさむ…



3

大きくて重いので
電池交換が重労働…

充電用電池の
保管スペースも
必要…



4

安全上、充電場所に 制約がある…

水素ガスが発生するかもしれない、夜間の無人での充電は心配…



約1/4の軽さで
作業負担を軽減!

小型で軽量なので
交換作業がラクラク!



SIP シリーズ



「SIPシリーズ」は、鉛蓄電池からの置き換えが簡単で様々なメリットがあるリチウムイオン電池です。

注意: 本ページ記載の数値は、AGV適用を想定したある条件下での当社独自のシミュレーションによる参考値です。

鉛蓄電池や一般的なリチウムイオン電池よりも「SCiB™」が選ばれている理由



安全性

危険な水素ガスを
排出しないため

どこでも
充電可能



負極に
安全性の高い
チタン酸リチウム
(LTO)を採用



一般的なリチウムイオン電池では、低温環境下や長期にわたる使用、大きな電流を流すことによってリチウム金属が析出しやすくなり、セパレータを突き破って内部短絡に至ることがあります。SCiB™ではリチウム金属の析出がありません。

内部短絡箇所の抵抗が
上昇し短絡電流を低減

SCiB™は、外部からの圧力など
によって内部短絡が発生して
も、発煙・発火の可能性は極め
て少ないリチウムイオン電池で
す。



適合安全規格・
認証取得多数

取得機関	23Ah セル	SIP 24/48
	• UL 1642 • UL 62133-2 • CSA C22.2#62133-2	• UL 62133-2 • CSA C22.2#62133-2
	• JIS C 8715-2:2012	—

保護機能

SIPシリーズはBMU*を標準装備しているため、電圧、電流、温度などを常に監視し、各種異常から電池を保護します。

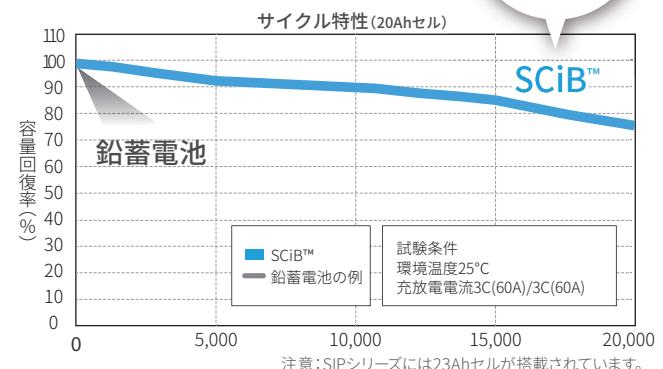
*BMU: Battery Management Unit



長寿命

20,000回以上
繰り返し使える

実測ではSOC*0～100%の充放電を20,000回繰り返しても70%以上の容量を維持します。また、SOC※50～90%の充放電で20,000回繰り返した場合、当社シミュレーションでは、容量の劣化はほとんどありません。



20,000回
以上使用可能

*SOC:State of Charge (充電状態)



急速充電／大電流放電
1時間で
充電可能



鉛蓄電池で8時間かかっていた充電時間を大幅に短縮できます。ご要望に応じて20分以内の充電にも対応できます。

モータなどの
起動電流の大きな
用途にも適用可能



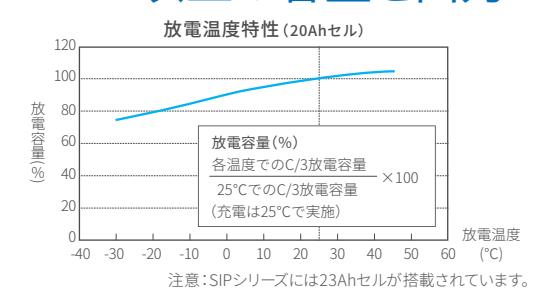
モータなどの負荷は起動時に定格電流の3倍の最大電流が流れる場合がありますが、SIPシリーズでは125A-200秒*の大電流にも対応できます。

* SIP24-23 単独、SIP48-23:125A-200秒/SIP24-23 2並列:150A-200秒



低温に強い

-30°Cの環境下でも
70%*以上の容量を出力

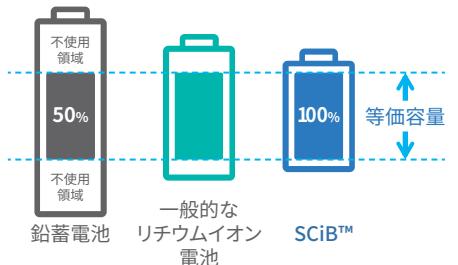


低温環境下でもリチウム金属が析出しないため、-30°Cでも使用できます。

*25°Cを100%としたときの放電容量



放電深度DOD*100%使用
DOD*100%使用可能



鉛蓄電池は劣化防止のためDOD*50%程度で使用することが多いですが、SCiB™は100%使用可能です。

*DOD:Depth of Discharge (放電深度)

AGV(無人搬送車)へのSCiB™導入例とそのメリット

2シフト制での運用例

生産ライン構築例	運用イメージ	電池数量	電池質量(kg)	充電に伴う作業	寿命
鉛蓄電池 <p>生産ラインとは別に専用充電スペースが必要 8時間稼働 専用充電スペース 充電8時間 生産ライン 定置式充電器4台</p>	<p>Aセット、Bセットを休憩時間中に電池交換</p> <p>8時間 1時間休憩 8時間</p> <p>生産 ライン Aセット稼働 Bセット稼働</p> <p>充電 スペース Bセット充電 Aセット充電</p>	<p>Aセット(稼働用) Bセット(充電用)</p> <p>19kg + 19kg 19kg + 19kg</p> <p>12V×2=24V 12V×2=24V</p> <p>AGV電源(24V) 鉛蓄電池12V×2個直列接続 稼働・充電用で2セット→合計4個必要</p>	<p>セット</p> <p>19kg 12V-50Ah + 19kg 12V-50Ah 24V-50Ah</p> <p>合計 38kg</p>	<p>充電済み電池との交換が、大きく重いので重労働…2倍の電池と2倍のコストに、充電スペースも必要…</p>	<p>1~3年</p>
SCiB™ <p>生産ライン内に急速充電器を設置 一斉に8時間稼働 休憩中の1時間で充電 専用充電スペース AGVに搭載したまま充電する場合は電池交換不要</p> <p>SCiB™ + 自動充電システム </p> <p>生産ライン内に自動充電システムを設置 24時間連続稼働 5分で自動充電 専用充電スペース 不要</p>	<p>1時間の休憩時に充電可能 (AGVに搭載したまま充電する場合は電池交換不要)</p> <p>8時間 1時間休憩 8時間</p> <p>生産 ライン 稼働 休憩時に充電 稼働</p> <p>停車時に充電</p> <p>24時間連続稼働</p>	<p>休憩時間に充電すれば電池を1個に出来る</p> <p>Aセット 24V-1個</p> <p>Bセット AGVに搭載したまま充電する場合不要</p> <p>Aセット 24V-1個</p> <p>Bセット 不要</p>	<p>等価容量 鉛 50Ah ÷ SCiB™ 22Ah</p> <p>AGV電源(24V) 鉛 24V = SCiB™ 24V</p> <p>質量 鉛 38kg > SCiB™ 8kg</p> <p>ほぼ同じ稼動時間でも重さが鉛蓄電池の約1/4の軽さ</p> <p>SCiB SIPシリーズ</p>	<p>AGVに搭載したまま休憩時に充電すれば電池交換は不要。電池を取り外して充電する場合でも、小型で軽量なので交換作業がラクラク!</p> <p>自動充電で無人運用可能!</p>	<p>10年</p>

4つの導入メリット

安全と環境

水素ガス発生の不安を解消
有害物質の廃棄を伴わないため
環境にやさしい
火気厳禁の充電スペースが不要に。
廃棄サイクルが長いため、環境負荷を抑制でき、作業現場と自然環境へのやさしさを両立します。

稼働率の向上

急速充電によって
AGVの稼働率は大幅に向上
AGVが休止している時間
8h 鉛蓄電池 → 1h SCiB™ → 5min SCiB™+自動充電 ×充電回数

充電による停車時間を大幅に短縮でき、最少台数で運用することで、稼働効率が飛躍的に向上します。

作業負担の軽減

小型で軽量になるため
充電済み電池との交換作業の負担を軽減
鉛蓄電池は大きく重く、充電や電池交換が重労働でしたが、SCiB™は1/4(8kg)の軽さに!
作業負担を軽減します。

トータルコストの削減

長寿命でライフサイクルコストがお得
イニシャルコストだけなら鉛蓄電池の方がお得に見えますが、運用期間が長くなるにつれて、SIPシリーズの方が割安に。

注意:本ページ記載の数値は、AGV適用を想定したある条件下での当社独自のシミュレーションによる参考値です。

多彩なアプリケーションとお客様の声

SCiB™の特長を活かしたSIPシリーズ適用例



急速充電



高頻度運転



信頼性・安全性



寒冷地対応



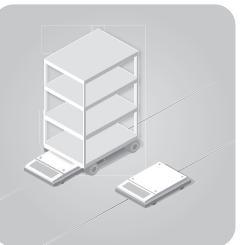
電力変動抑制



回生電力



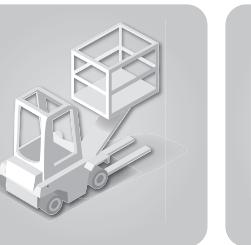
アーム付きAGV



搬送ロボット



案内ロボット



高所作業車



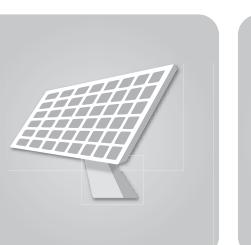
牽引車



天井走行モノレール



風力発電



太陽光発電



UPS



モータードライブ

お客様の声

自動搬送車メーカー A社



急速充電と自動充電システムを自動車メーカーに提案し採用されました



20,000回の長寿命でメンテナンスフリー費用対効果が決め手でした

電源メーカー C社



非接触充電に適した電池がなくて困っていたのですが、ついにSIPシリーズに巡り会えました



自動車メーカー D社

電池交換による取り外し、取り付け作業は重くて大変でしたが、ラクになりました

AGV(無人搬送車) 工場内のAGVやロボットに搭載

AGVは、工程間の搬送、生産ラインへの部品供給、組立てラインでの作業など活躍シーンが増えています。

鉛蓄電池からの置き換えメリット

- ① 安全で長寿命
- ② AGVの電費改善や小型・軽量化に貢献
- ③ 電池交換時の作業負担を軽減

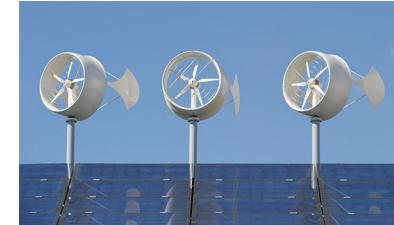


再生可能エネルギー 小型の風力発電や太陽光発電に搭載

世界中で需要が高まっている再生可能エネルギーの蓄電をご利用いただけます。

鉛蓄電池からの置き換えメリット

- ① 変動の大きい出力変動にも追従し電気を安定供給
- ② BMUを搭載し通信機能で電池情報を上位コンピュータへ送信
- ③ 高頻度に充放電を繰り返しても長寿命



案内ロボット 商業施設等での案内ロボット、医療現場でのサポートロボットに搭載

労働力の不足や外国人旅行者などへの多言語対応で需要が高まっています。

鉛蓄電池からの置き換えメリット

- ① 充電時間が短いので現場を離れず稼働できる
- ② 安全性が高いため商業エリアで充電可能
- ③ 小型・軽量なのでロボットへの負担が少ない



ファシリティ 道路や公園、工場、施設など街中で使われる設備用電源に搭載

デジタルサイネージや信号機、街路灯、監視カメラ、ポータブル電源、セキュリティー装置など様々な用途に。

鉛蓄電池からの置き換えメリット

- ① 発煙・発火の可能性は少なく安全で幅広い用途に適用
- ② 小型で軽量のため小さな機器にも搭載可能
- ③ 屋外に設置される厳しい温度環境(-30~45°C)にも対応



鉛蓄電池からの置き換えが簡単なSIPシリーズラインアップ

SIPシリーズはセル電圧、モジュール温度などを監視し、異常検出を行うBMU(バッテリマネジメントユニット)を搭載しているため、取り扱いやすく、安全性の高いリチウムイオン電池としてご使用いただくことができます。

SIP24-23 (24V) /SIP48-23 (48V)

充電や放電を頻繁に繰り返す用途に適したリチウムイオン電池

最大125A(200秒)の大電流で出し入れ可能

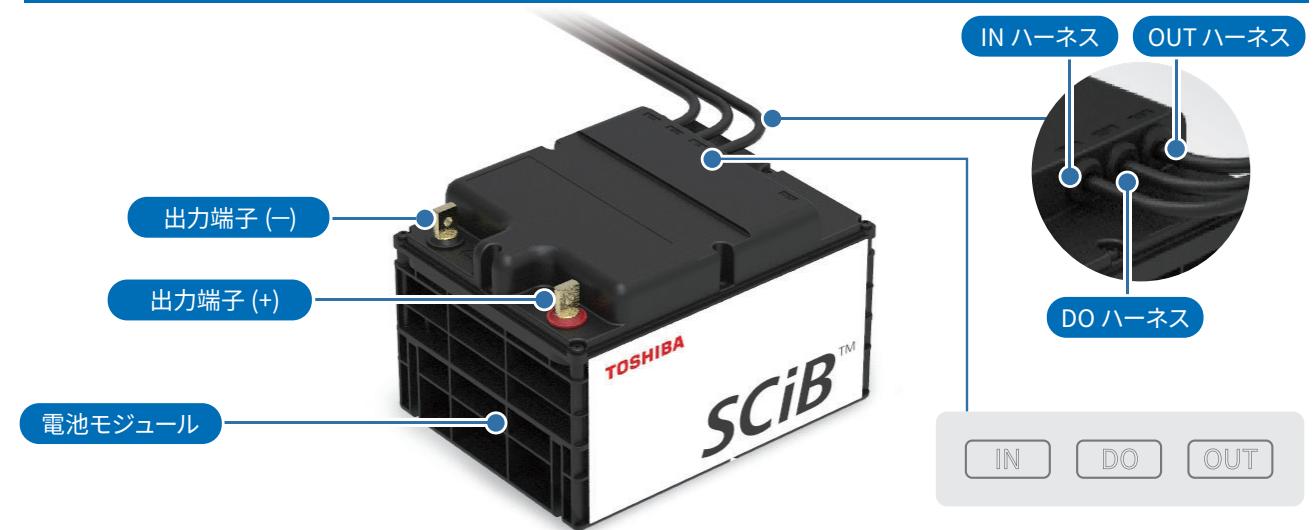
高頻度に充放電を繰り返す無人搬送車などのモータドライブに適しています。

お使いの鉛蓄電池からの置き換えが簡単

一般的な鉛蓄電池より小型・軽量で、かつ一般的なリチウムイオン電池より取り扱いが簡単なため、現在お使いの電池からSIPシリーズへお手軽に置き換えていただくことができます。



各部の名称



特長

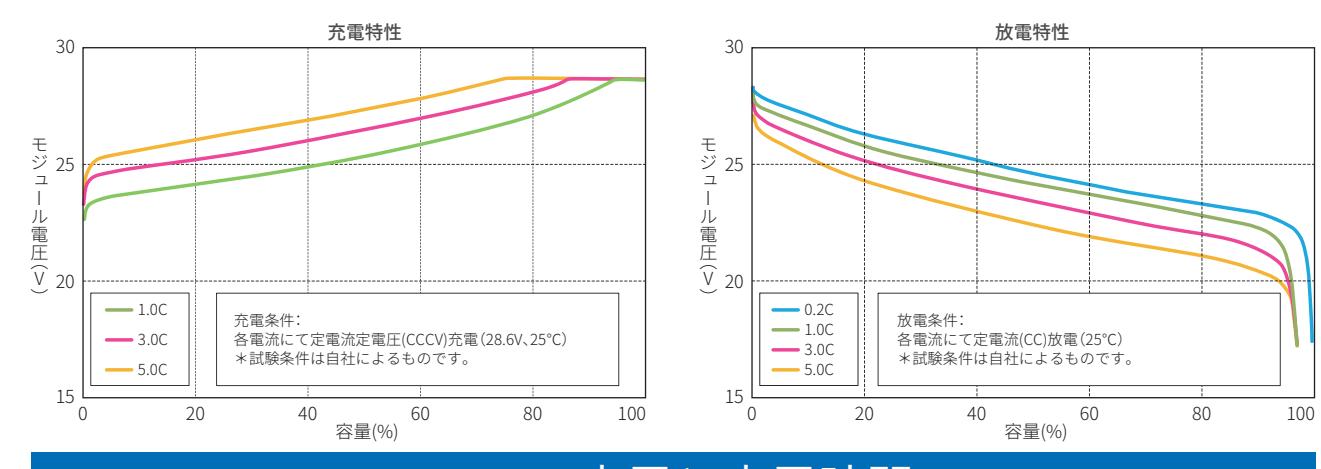
安全安心	内蔵BMU ^{※1} の保護機能によって異常から電池を保護。
急速充電	充電時間が短いため非接触充電や接触式充電の自動充電システムなどに対応。
外部インターフェース	低電圧や過電圧、高温度の警告や異常、SOC ^{※2} (4段階)を出力。CAN通信で詳細情報を伝送。
重さ 1/4	同じ放電容量の一般的な鉛蓄電池にくらべ約1/4 ^{※3} の軽さ。(質量約8kg)

※1 BMU: Battery Management Unit
※2 SOC: State of Charge
※3 ある特定条件下での当社独自のシミュレーションによる参考値です。

製品仕様

製品名	SIP24-23 (24V)	SIP48-23 (48V)
型名	FP01101MCB01A	FP01101MCB01A×2個
モジュール構成	単独構成	2並列
モジュール構成イメージ		
公称電圧	DC25.3V	DC50.6V
使用電圧範囲	DC16.5~29.7V	DC33.0~59.4V
定格容量	22Ah	44Ah
電力量	556Wh	1113Wh
最大許容電流	125A (200秒)	150A (200秒)
充電方式	CCCV定電流定電圧 (V=28.6V)	CCCV定電流定電圧 (V=57.2V)
寸法	W247×D188×H165mm	左記2個使用
質量	約8kg	約16kg
使用周囲温度	-30~45°C	
保存周囲温度	-30~55°C (推奨35°C以下)	
湿度	85%RH以下 (結露なきこと)	
防塵防水	IP53相当	
保護機能	過充電保護、過放電保護、過電流保護、高温度保護、低温度保護	

ご発注の際は、モジュール構成をご確認ください。製品は上記のモジュール構成のみご使用いただけます。



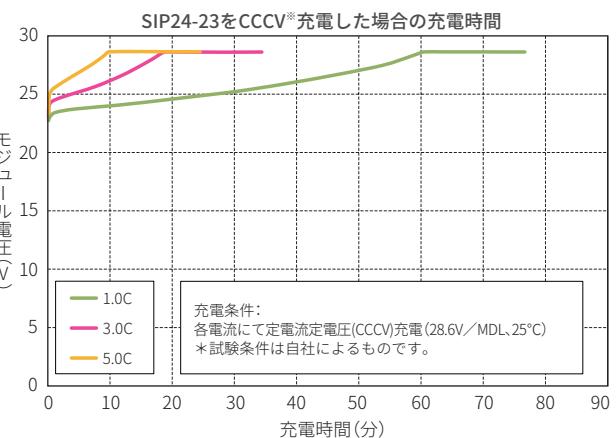
充放電特性 (SIP24-23)

SIPシリーズの充電は、リチウムイオン電池で一般的に行われているCCCV[※]充電を推奨いたします。

SIP24-23の場合: CV=28.6V

SIP48-23の場合: CV=57.2V

※CCCV: Constant Current Constant Voltage



注意: 各特性グラフ・データは、製品の性能を保証するものではありません。ある特定の条件下における参考データです。

外部インターフェース仕様

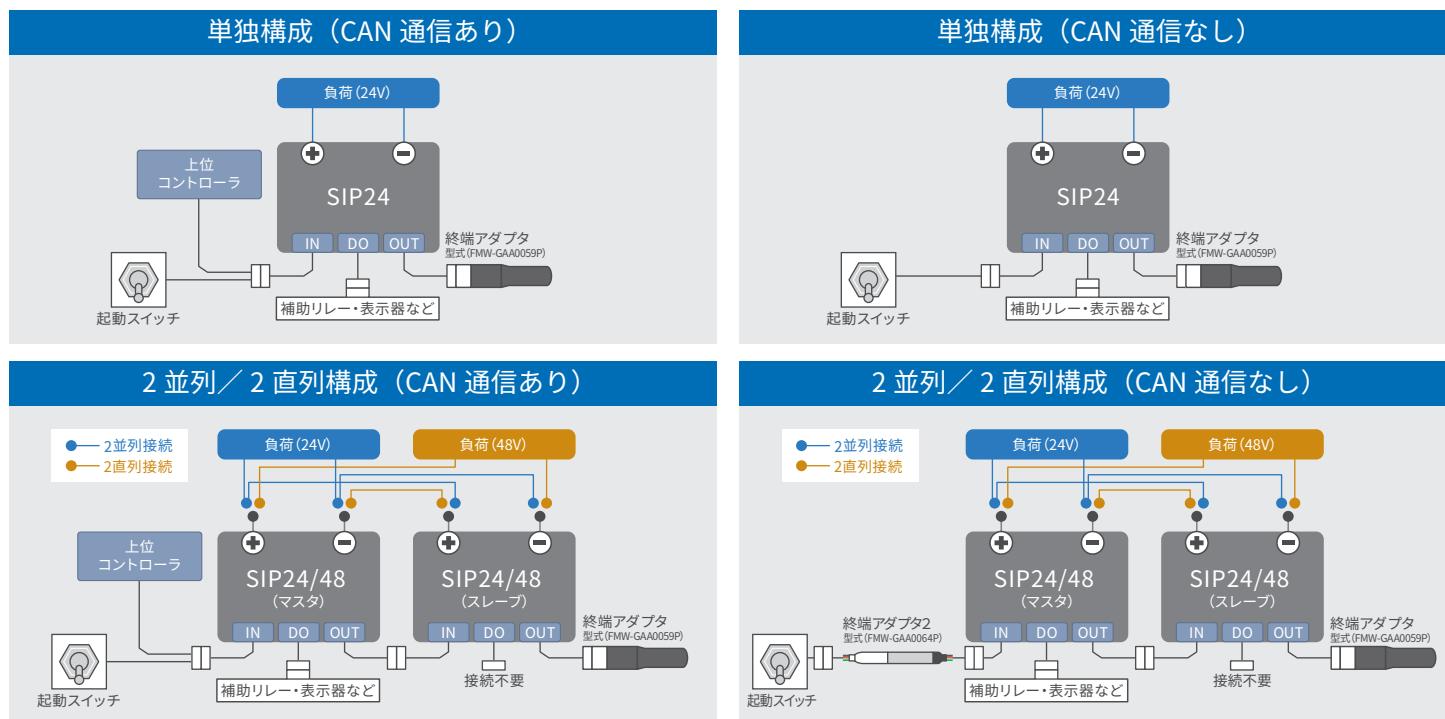
形状	コネクタ	仕様	備考
主回路端子	一	ボルト・ナット (M6)	ボルト・ナット (M6) はお客様にてご準備ください。
INハーネス (250±30mm)	JST製 (8ピン) SIP側: 08R-JWPF-VSLE-D 装置側: 08T-JWPF-VSLE-D ^{*1}	上位伝送、デジタル入力 1ch: CAN通信 (CAN2.0B準拠、速度: 250kbps) 3点: 起動信号、CANアドレス付番、モジュール数認識	CAN通信を使用しない場合、終端アダプタ2を接続してください。  終端アダプタ2 (SIP24単独構成では不要)
DOハーネス (250±30mm)	JST製 (6ピン) SIP側: 06R-JWPF-VSLE-D 装置側: 06T-JWPF-VSLE-D ^{*1}	デジタル出力 (FET出力: 最大30V、20mA)、電源 2点: SOC出力 (SOC残量を2bit-4段階表示) 3点: 警告出力 ^{*3} (低電圧、過電圧、高温度) 1点: DC5V電源 (最大25mA)	補助リレーや表示器などを接続することができます。 DC5V内部電源以外の外部電源を使用する場合、 INハーネスの5番ピンが制御用GNDとなります。 
OUTハーネス (250±30mm)	JST製 (8ピン) SIP側: 08T-JWPF-VSLE-D 装置側: 付属終端アダプタ接続 ^{*2}	スレーブモジュールへの出力 1ch: CAN通信 (CAN2.0B準拠、速度: 250kbps) 3点: 起動信号、CANアドレス付番、モジュール数認識	モジュール単独または2直並列で使用時の スレーブ側モジュールには終端アダプタを 接続してください。 終端アダプタ 型式(FMW-GAA0059P)

*1 装置側のコネクタはお客様にてご準備ください。

*2 2直並列構成の場合、マスター側OUTハーネスとスレーブ側INハーネスを接続し、スレーブ側のOUTハーネスに付属の終端アダプタを接続してください。

*3 充放電回路には安全のためDOハーネスの警告出力によるインターロック回路を構築してください。

システム構成



安全上のご注意

- 本製品の故障や誤動作が、人命や公共の機能に重大な影響を及ぼす恐れのある設備（原子力制御、航空宇宙関連、交通機器、生命維持装置、各種安全装置など）には使用しないでください。
- 本製品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、使用環境、使用条件により故障することがあります。本製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への使用に際しては、設計上の配慮（二重化、フェイルセーフ等）をお願いします。
- ご使用環境については、必ずカタログ・取扱説明書に記載されている仕様範囲内でお使いください。範囲外で使用した場合、けが・火災など事故の原因となります。
- 本製品をご使用の前には、必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本製品の故障や誤動作による装置・接続機器の異常・故障に関する損害・その他二次的な波及損害を含む全ての損害について一切の責任を負いません。
- 本資料に掲載してある技術情報は、製品の代表的動作・応用を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
- 本資料に掲載されている製品は、国内外の法令・規則および命令により製造、販売を禁止されている応用製品に使用することはできません。
- 本製品を単体あるいは装置に組み込み海外に輸出する場合には、経済産業省が定める「キャッチオール規制」に基づく「インフォーム要件」「客観要件」の検討と併せて、必要な輸出手続きの実施をお願いします。

株式会社 東芝

東芝インフラシステムズ株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

〈取扱店〉

SBT-004f 22-08

- 各特性グラフ・データは、製品の性能を保証するものではありません。ある特定の条件下における参考データです。
- このカタログの内容については、予告なく変更することがあります。
- このカタログに掲載している製品名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- このカタログについては、無断で複製・転載することを禁じます。

- 製品の色は、印刷の具合で実物と若干異なることがあります。
- 製品のデザイン・仕様・部品などは予告なく変更することがあります。
- 製品のパッケージデザインは、カタログ用のため実物とは異なります。



動画はこちら



紹介ページは
こちら



お問い合わせは
こちら

詳しくはホームページよりお問い合わせください。

SCiB SIP

検索

<https://www.global.toshiba/jp/products-solutions/battery/scib/product/module/sip.html>

このカタログの内容は令和4年8月現在のものです。